

自己採取法による HPV 検査で既存の器具との同等性を確認

※比較実証データ取得済み。論文化に向けて現在準備中。

1 HPV 検査による自己採取普及に向けて

定期的な子宮頸がん検診を受ける為、病院または検診機関へ出向く事が困難な方々に対し、自己採取法による HPV 検査が選択肢の一つとなれば、受診率の向上に繋がると考えています。今回は、既に実証データのある器具との併用検査を実施し、結果に差異が無いかを比較検証しました。また、同時に細胞診検査との相関性についても検証しました。

4 参考データ

細胞診検査との相関性も同時に検証
HPV 検査の陽性者とすべて一致

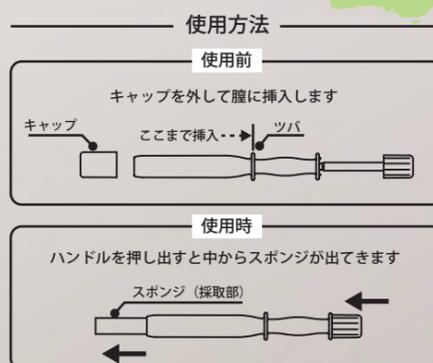
受診者	年齢	細胞診検査判定	HPV検査判定
A	25	HSIL	陽性
B	25	ASC-H	陽性
C	34		陽性
D	23		陽性
E	26	LSIL	陽性
F	28		陽性
G	21		陽性

2 HPV 検査一致率 97.36%

検査結果	セルソフト®	エヴァリン®ブラシ
陽性者	23人	22人
陰性者	15人	15人

5 環境に配慮したバイオマスプラスチックを採用

SDGs で一つのテーマとなっている環境汚染への対応として、セルソフトには、サトウキビ由来のバイオマスポリエチレンを採用する事により、CO2 排出量を低減しています。



3 比較検証条件

対象器具	『エヴァリン®ブラシ』 『セルソフト®』
対象人数	38名 (風俗営業従事者31名含む)
対象年齢	18歳~51歳 平均年齢: 28.6歳
実施時期	2022年3月~4月
検査方法	杏林大学保健学部 大河戸光章先生開発 「高感度多種HPV検出法 uniplex E6/E7 PCR」にて実施
判定HPV型 (17種)	ハイリスク型15種: 16,18,31,33,35,39,45,51,52,53,56,58,59,66,68型 ローリスク型 2種: 6,11型
採取方法	対象者自身による自己採取 『エヴァリン®ブラシ』 → 『セルソフト®』の順に採取

